

## 5. 大学院キャリア科目

| 申告<br>番号 | 授業科目                | 単位    | 担当教員           | 学期  | 備考 |
|----------|---------------------|-------|----------------|-----|----|
| 23001    | キャリアデザイン(O)         | 2-0-0 | 伊東 幸子<br>守島 利子 | 後学期 |    |
| 23002    | キャリアデザイン(S)         | 2-0-0 | 守島 利子<br>伊東 幸子 | 後学期 |    |
| 23003    | グローバル企業の研究開発実践論Ⅰ    | 1-0-0 | 岡田 常義          | 前学期 |    |
| 23004    | テクノロジーマネジメント実践論 (S) | 1-0-0 | 古田 健二          | 前学期 |    |
| 23005    | コミュニケーション戦略         | 0-1-0 | 増沢 隆太          | 前学期 |    |
| 23006    | キャリアデベロップメント演習      | 0-1-0 | 増沢 隆太          | 前学期 |    |
| 23007    | グローバル企業の研究開発実践論Ⅱ    | 1-0-0 | 岡田 常義          | 後学期 |    |
| 23008    | テクノロジーマネジメント実践論 (O) | 1-0-0 | 古田 健二          | 後学期 |    |
| 23009    | ロジカルコミュニケーション演習     | 0-1-0 | 増沢 隆太          | 後学期 |    |
| 23010    | キャリアデベロップメント実践演習    | 0-1-0 | 増沢 隆太          | 後学期 |    |

### [授 業 要 目]

#### 23001

##### キャリアデザイン(O) (Career Design(O)) ※大岡山開講

後学期 2-0-0 伊東幸子(特任教授), 守島利子(特任教授)

受講生が間近にせまった就職活動に臨むにあたり, 主体的に「職業選択」でき将来のキャリアが描けるようになるための知識と技術を講義する。直近の大卒就職活動を事例とするが, 単なる「就活技術」ではなく, 受講生が, 今後の職業人生における「キャリアの節目」で選択を行う際に踏むべき必要な手順(①自分を知る②職業社会を知る③選択の意志決定を行う)を実践的に身につけることを目的とする。講義中心の授業ではなく, 毎回グループワークを行う。授業で学んだことを受講生各自がアウトプットにまとめ, まとめた内容を発信し相互にフィードバックしあうことを重視する。

#### 23002

##### キャリアデザイン(S) (Career Design(S)) ※すずかけ台開講

後学期 2-0-0 守島利子(特任教授), 伊東幸子(特任教授)

受講生が間近にせまった就職活動に臨むにあたり, 主体的に「職業選択」でき将来のキャリアが描けるようになるための知識と技術を講義する。直近の大卒就職活動を事例とするが, 単なる「就

活技術」ではなく、受講生が、今後の職業人生における「キャリアの節目」で選択を行う際に踏むべき必要な手順(①自分を知る②職業社会を知る③選択の意志決定を行う)を実践的に身につけることを目的とする。講義中心の授業ではなく、毎回グループワークを行う。授業で学んだことを受講生各自がアウトプットにまとめ、まとめた内容を発信し相互にフィードバックしあうことを重視する。

### 23003 23007

#### グローバル企業の研究開発実践論Ⅰ・Ⅱ (R & D Activities of Global Companies)

前学期 1-0-0 岡田常義(非常勤)等

本コースは欧米外資系企業を中心として、グローバルな活動をしている企業における研究開発活動の概要、業界・地域などの特徴、その背景にある考え方、価値観、行動様式、研究員に求められる資質について講義し、グローバルな舞台での活躍を志向する学生に、キャリアパス選択の指針になるような情報を提供することを目指している。

具体的な進め方は、各種業界の日・米・欧系企業において実務経験を有する講師による講義をオムニバス形式で進める。産業分野としては、総合・機能性化学、自動車、製薬、電機・通信、精密機器、エネルギー(平成25年1月現在、変更の可能性あり)など多様な業界を想定している。

講義内容は理論ではなく実態の紹介が中心となるので、特別に事前準備は必要としないが、将来グローバルな視点で活躍したいという意欲が重要である。

評価は講義の出席、毎回の講義に対する課題レポートの提出状況など。

### 23004

#### テクノロジーマネジメント実践論(S) (Technology Management Process (S))

※すずかけ台開講

前学期 1-0-0 古田健二(特任教授)

本コースは、学との連携も意識しながら、産業界における価値創造へ向けての技術の活用のあり方およびその実践へ向けての具体的な取り組みなどについて考えるものである。多くの日本企業において従来から行われている研究開発マネジメントという視点との違いを意識しながら、日本企業再生へ向けて、技術そのものの開発という視点から、技術の有効性を活用することにより、いかに価値を創造するかというグローバルスタンダードな技術への取り組みを理解する機会を提供することを目指している。

具体的には、マクロ、ミクロな幅広い視点から戦略のみならず実際の開発マネジメントのポイントとなる各種の仕組み・制度、組織体制および技術資源および人的資源のマネジメントなど幅広い問題に対して多くの事例を参考にしながら展開する。

- ・ 受講に際しては特別な準備および予備知見は必要ないが、将来イノベーションの主体として活躍したいという意欲の持ち主に受講していただきたい。

- ・ 後期も同趣旨の講義「テクノロジーマネジメント実践論(0)」を予定しているので、どちらかを選択すればよい。なお重複して単位を取得することはできない。

評価は出席状況、期末の課題レポート提出状況などを参考にする。

## 23005

### コミュニケーション戦略 (Communication Strategy)

前学期 0-1-0 増沢隆太(特任教授) ※すずかけ台開講

- ・コミュニケーションそのものという漠然とした存在ではなく、コミュニケーションによって実現したい、真の目的の設定、明確化、その実現への道のりという戦略的な構造を理解し、ロジカルで実践的講義と実習を交え、体験型トレーニングの場とします。
- ・「コミュニケーション」とは何か、テクニカルな技術面とその構造を理解することで、「実践力」を習得するよう図ります。
- ・対人・対面ロールプレー、メール、プレゼン等を実習を通じて構造理解を促します。
- ・「戦略観」「戦略思考」を重視した「考え方」のトレーニングです。
- ・後期の「ロジカルコミュニケーション演習」と連動しており、本講座で骨格理解を、後期講座でさらに実習を深める構成となっています。

講義の内容(予定)

1. コミュニケーション構造  
組織で求められるコミュニケーション等、戦略観と構造理解
2. 傾聴スキルトレーニング  
コミュニケーション技法としての積極的傾聴法の習得
3. 組織内コミュニケーション演習  
グループワークとアイディエーション、プレゼンテーション
4. プレゼンテーション技術  
研究発表、ポスター発表等のプレゼンテーション技術
5. 戦略思考・ロジカル・クリティカル・シンキング  
戦略発想とは
6. コミュニケーション戦略  
戦略的コミュニケーションの実践

## 23006

### キャリアデベロップメント演習 (Career Development Exercise)

前学期 0-1-0 増沢隆太(特任教授) ※大岡山開講

- ・ 企業就職に限らず、アカデミアに進む場合でも、そもそも「キャリア」とは何かを顧み、どういった選択の仕方があるのかを考えます。
- ・ 理系人としてのキャリア実現のため、社会的・職業的自立の力を養成し、現実のさまざまな制限のある環境下でのキャリア選択を考える演習です。
- ・ 理系大学院生にとって可能性の高いケースを分析し、キャリアの不可逆性という特質から、実際のキャリア決定ケースを通じて判断力も養成します。

・「戦略観」「戦略思考」を重視した「考え方」のトレーニングです。  
後期の「キャリアデベロップメント実践演習」と連動しており、本講座で骨格理解を、後期講座でさらに多様なケース分析等実習を深める構成となっています。

講義の内容(予定)

1. 理系のキャリアとは
2. 「仕事」とは/企業とは何か
3. 経営分析とキャリア
4. キャリア決定プロセス
5. ケーススタディ
6. コミュニケーション戦略

## 23008

### テクノロジーマネジメント実践論 (0) (Technology Management Practice (0))

後学期 1-0-0 古田健二(特任教授)

※大岡山開講

本コースは、学との連携も意識しながら、産業界における価値創造へ向けての技術の活用のあり方およびその実践へ向けての具体的な取り組みなどについて考えるものである。多くの日本企業において従来から行われている研究開発マネジメントという視点との違いを意識しながら、日本企業再生へ向けて、技術そのものの開発という視点から、技術の有効性を活用することにより、いかに価値を創造するかというグローバルスタンダードな技術への取り組みを理解する機会を提供することを目指している。

具体的には、マクロ、ミクロな幅広い視点から戦略のみならず実際の開発マネジメントのポイントとなる各種の仕組み・制度、組織体制および技術資源および人的資源のマネジメントなど幅広い問題に対して多くの事例を参考にしながら展開する。

- ・ 受講に際しては特別な準備および予備知見は必要ないが、将来イノベーションの主体として活躍したいという意欲の持ち主に受講していただきたい。
- ・ 前期も同趣旨の講義「テクノロジーマネジメント実践論(S)」を予定しているので、どちらかを選択すればよい。なお重複して単位を取得することはできない。

評価は出席状況、期末の課題レポート提出状況などを参考にする。

## 23009

### ロジカルコミュニケーション演習 (Logical Communication) ※大岡山開講

後学期 0-1-0 増沢隆太(特任教授)

- ・ コミュニケーション構造理解と戦略思考にのっとり、効果的なコミュニケーションの実践を図る演習です。
- ・ 前期の「コミュニケーション戦略」で理解した、真の目的の設定、明確化、その実現への道のりという構造を実習で使うトレーニングの場とします。
- ・ 「ロジカル」であることが、コミュニケーションの前提であり、いきあたりばったりではなく、戦略的な準備から展開、フォローまでテクニカル面と自分自身のモチベーション等も鑑みて実現することを目指します。

- 対人・対面ロールプレー、メール、プレゼン等を実習を通じて構造理解を促します。
- 「戦略観」「戦略思考」を重視した「考え方」について、常に振り返ります。

前期の「コミュニケーション戦略」と連動しており、前期講座で骨格理解を、本講座でさらに実習を深める構成となっています。

講義の内容(予定)

1. コミュニケーション構造とロジカルシンキング  
組織で求められるコミュニケーション等、戦略観と構造理解。  
ロジカルシンキングについて認識し、実践する。
2. 個人ワーク
3. グループワーク
4. プレゼンテーション
5. ディスカッション
6. 面接

## 23010

### キャリアデベロップメント実践演習 (Practical Career Development) ※すずかけ台開講

後学期 0-1-0 増沢隆太(特任教授)

- 企業就職に限らず、アカデミアに進む場合でも、そもそも「キャリア」とは何かを顧み、どういった選択の仕方があるのかを考えます。
- 理系人としてのキャリア実現のため、社会的・職業的自立の力を養成し、現実のさまざまな制限のある環境下でのキャリア選択を考える演習です。
- 理系大学院生にとって可能性の高いケースを分析し、キャリアの不可逆性という特質から、実際のキャリア決定ケースを通じて判断力も養成します。
- 「戦略観」「戦略思考」を重視した「考え方」のトレーニングです。

前期の「キャリアデベロップメント演習」と連動しており、前期講座で骨格理解を、本講座でさらに多様なケース分析等実習を深める構成となっています。

講義の内容(予定)

1. 理系のキャリアとは/仕事/企業とは
2. 経営分析とキャリア決定
3. 情報収集とリテラシー
4. ケーススタディ
5. ライフキャリアデザイン